



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「大きな喜び」①

今回の[All the Good Things]と「ストーリー」は、[Stories for the Heart] (心に響く物語) という百十もの感動的な物語を蒐集したものの一つであり、ヘレン・ムロスタというカトリックの学校のシスターの涙の体験記である。ミネソタ州モーリスという町にあるセイント・メアリー小学校でのこと、ヘレンが最初の3年間を受け持った三十四人の生徒の中にマーク・エクランズという生徒がいた。彼は身なりもしっかりしていて、学校が嬉しくて仕方がないという生徒だった。良くおしゃべりをする子で、その度に「とに注意すると、「注意してくれて有難う」と言うのだった。でもある日、忍耐が切れて、「もう一言言ったら、口にマスキング・テープを貼るわよ」と言ったことがあった。だが十秒もしない間に、彼はまたしゃべりだしたので、口の周りにX印でテープを貼った。マークを見ると彼は私にウインクをした。私は堪え切れずに笑ってしまったが、クラスはそれで緊張感が解けて、彼の口のテープを外しに掛かった。その時も彼はいつものように「注意してくれて有難う」と言ったのだった。

やがて私は中学校9年生の数学を教えることになったが、マークはまた私のクラスになった。彼はさらにハンサムになり、前の様におしゃべりではなくなった。ある金曜日、数学が難しく皆がイライラしているのが分かった。そのままだとか何か起りそうだったので、私は一計を案じて、「二枚の紙に他の生徒たち全員のいちばん良い所を書くように」と言った。クラスの終わりに彼らはそれを提出した。マークはいつものように「シスター、今日のクラスを感謝します。良い週末を」と言った。次の月曜日に私は彼らの書いたものをリストにして各自に渡したが、クラスでは「ええ、本当? 自分にはこんな良い所があるの? こんな風に考えてたんだ」などという声があり、皆は満足げだった。

月日が経った。私が両親の家に帰って散歩していた時、父は「昨晚、エクランズ・ファミリーから電話があったよ」と言った。私は何年も会っていない彼は今、どうしているのだろうかと思った。父は続けた「彼はベトナム戦争で死んだそうだ。明日が葬儀でお前にも出て欲しいのだそうだ」。そこで思った「マーク、あなたが欲しいのなら、全世界のマスキング・テープを上げて良いわ」と。その日は雨だったが、教会は彼の友人で一杯だった。軍隊式の葬儀で、一人一人が棺の前に出て、聖なる水を降り掛けたのだった。私は最後に棺の前に出た時「あなたがマークの先生ですか?」と彼の戦友が尋ねてきた(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

